

亀川中学校だより  
**亀中 Village** (美礼時)



**No.10**

HP <http://www.kame-chu.kainan.ed.jp/>

発行 平成 30 年 1 月 26 日

亀川中学校だより

海南市立亀川中学校  
海南市且来990

TEL (073) 482-3529

## 教育目標

人権尊重の精神を基調とし、正義と公正を重んじ、  
主体的に考え行動できる生徒を育成する。

あ：安全・安心な学校

い：勢いのある学校

う：美しい学校

え：英知を磨く学校

お：親が通わせたい学校



“**亀中一心**”

## “冬来たりなば、春遠からじ”

### If Winter comes, can Spring be far behind ?

「冬来たりなば、春遠からじ」。寒い冬になると一刻も早い春の訪れが待ち遠しいものです。この有名な言葉、なんとなく昔から言われている中国の諺（つらい時期を耐え抜けば必ずいい時期がくる）のようにも思えますが、実は、イギリスの詩人シェリーの長詩「西風に寄せる歌」が出典です。その最末尾に、If Winter comes, can Spring be far behind ? とあるのがそれです。日本のこの季節にこれほどピッタリと当てはまる言葉は他にないように思います。東京都心では4年ぶりに20cmを超える積雪や1970年以来の氷点下4度、極東シベリアでは氷点下67度と、各地から正に身も凍るようなニュースが連日飛び込んできます。今、寒さの真っ只中ですが、この寒さに耐える力こそが春を暖かいものにしてくれるのです。

さて、3学期が始まってもうひと月が過ぎました。「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る、ポーッとしていたらあっという間に終わってしまいます。3年生は9年間の義務教育のまとめの時、2年生は15カ月の3年生がスタートする立志の時を意識して過ごすこと。1年生は先輩方のその姿を目に焼き付けておくこと。」と始業式で話したのを覚えていますね。併せてこんな話もしました。3学期は私にとっても仕上げの時。私の仕事には大きな責任があります。言うまでもなく一番は皆さんに学力を付けること。そして心身両面で皆さんをどれだけ変えられたかということです。そして、学校をどれだけ変えられたかということです。先生方は私の教育観、学校経営方針をほぼ理解してくれたという手応えがあります。生徒や保護者、地域の方々もわかってくれつつあるなど実感しています。それに慢心せず3学期もやれるだけのことをやりたいと考えています。成年は守りの年でもあります。亀川中学校の今の安定、勢いを守るためには、熱気を冷ますことなく、更なる上昇を目標に頑張りなければと決意を新たにしました。その上で、初詣ではシンプルに家内安全と学校安全を祈願しました。

## 物事は必ず両面の捉え方ができます！

「もう」と「まだ」。目前に入試が迫っている3年生。「もう、10日しかない」と焦っている人、「まだ、10日ある」と気合いの入る人、様々でしょう。私達は何気なくこの「もう」と「まだ」を使っていますが、この言葉は使い方次第で気持ちを前向きにもできるし、逆に後ろ向きにしまいます。「もう」がつくと焦っているイメージ、「まだ」がつくと少し余裕あるイメージに感じます。言葉の力ってすごいですね。言葉というイメージがありますが、正にその通りだと思います。

**こんな話もあります。**2人の男がある靴会社から頼まれてアフリカの奥地に調査に行きました。Aは「靴は売れる見込みはありません。そこでは誰も靴を履いていませんから」と報告しました。ところが、Bは「大いに売れる見込みがあります。そこではまだ誰も靴を持っていませんから」と応えたそうです。同じ事実でも受け止め方でこうも違ってきます。もちろん、会社とすればBの考え方でチャレンジしていかないと伸びは期待できないでしょうが…。

一つの物事は必ず両面の捉え方ができるものです。その時々で、ちょっと柔らかな考え方をして自分を励まし、奮い立たせることのできる人は素晴らしいです。生徒はあと2ヶ月で新しい学年を迎えますが、この期間をどんな捉え方をするかで時間を生かすことも無駄にすることもできるのです。3年生は受験シーズン真っ只中、生徒自身や家族も緊張状態が続きますが、柔らかなものの考え方で対応をしてみたいはかがですか。

**最後にもうひとつ紹介します。**偶然出会った海南商工会議所会頭が口にしたお話が印象的でしたので紹介します。海南市の人口はどんどん減っていて、2050年には3万人を切るそうです。流出による人口減で市の衰退が懸念されますが、海南市を出て日本全国で活躍する人材が増えていると考えるとそれは大変喜ばしいことであり、教育界、学校はそういう人材をどんどん育ててくださいとのことでした。「海南市から日本を動かす人材を送り出しましょう。」と力強く語ってくれました。力が漲ってきました。

## 明るい話題・嬉しいニュースが続々！

～ 年始から勢いを感じます～

①第23回全国都道府県対抗男子駅伝大会が1月21日（日）広島県で開催されました。県代表3人の中学生に本校3年生花本達紀君と北山諒太君の両名が選出され、当日第6区を花本君が疾走、区間20位と大健闘しました。和歌山県は前年と同じく38位でしたが、2人はこの貴重な経験を2月のジュニア駅伝にきっと活かしてくれることでしょう。

②「**県PTA広報紙コンクール**」で本校の育友会新聞「かめがわ」が昨年に続き最優秀賞を獲得、去る1月20日（土）に白浜町で開催された平成29年度和歌山県PTA指導者研修会にて表彰を受けました。工夫された内容やレイアウト、表現や写真の細かな気配り等が総合的に評価されたようです。総務部の皆様、おめでとうございます。

③**新校舎完成**がいよいよ間近に迫ってきました。ワクワク感も日増しに高まっています。在校生は、「あの校舎、私達が〇年の時に完成した。」と、きっと明確に覚えていてくれるでしょう。現3年生への申し訳ない気持ちは拭えませんが…。3月中旬に保護者や地域の皆様を対象に内覧会を計画します。ご案内しますので、是非、来校してください。



記：熊代

